

FCE4U

梱包内容:

- | | | |
|----------------------|--------------------------|----------------------|
| 1 - エンクロージャー | 2 - ブッシング | 3 - 粘着テープ付きコードクリップ |
| 4 - #12-24 X 1/2" ネジ | 2 - ストレインリリーフブラケット | 3 - タックタイ用粘着テープ付き固定具 |
| 4 - M6X1 ネジ | 3 - タックタイ | 1 - 警告ラベル |
| 2 - #10-32 X 3/8" ネジ | 4 - 結束バンド (型番: PLT2S-M0) | 1 - レーザー光線警告ラベル |
| 4 - #10-32 HEX ナット | 2 - 光ファイバースプール | 2 - ケーブルポスト |

注意:
光ファイバーケーブルは、過度の張力・屈曲・圧迫によって破損する恐れがあります。ケーブル製造会社の仕様書や取扱説明書に従い作業を行ってください。

成端の際は、TIA/EIA 568-A、569、606および607に従ってください。

警告:
接続していない状態のコネクタはレーザー光線を放射している可能性があります。コネクタの終端を直接目視したり、顕微鏡などで見ないでください。接続していないコネクタにはダストキャップを取り付けてください。
ファイバー製品を保護するため、エンクロージャーの引き出しの開閉は十分注意して行ってください。

アセンブリ

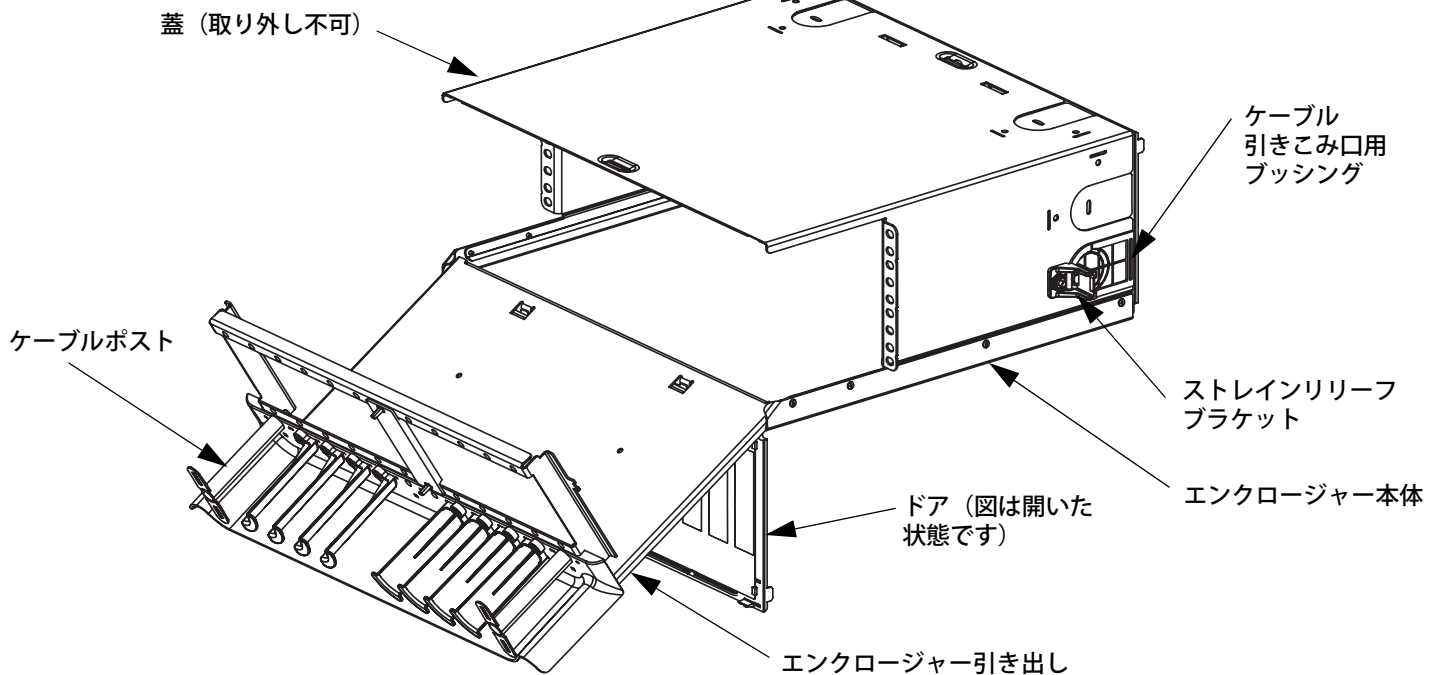
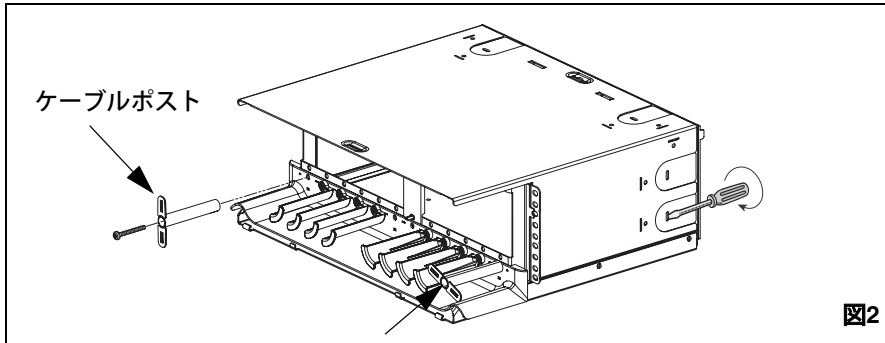


Figure 1

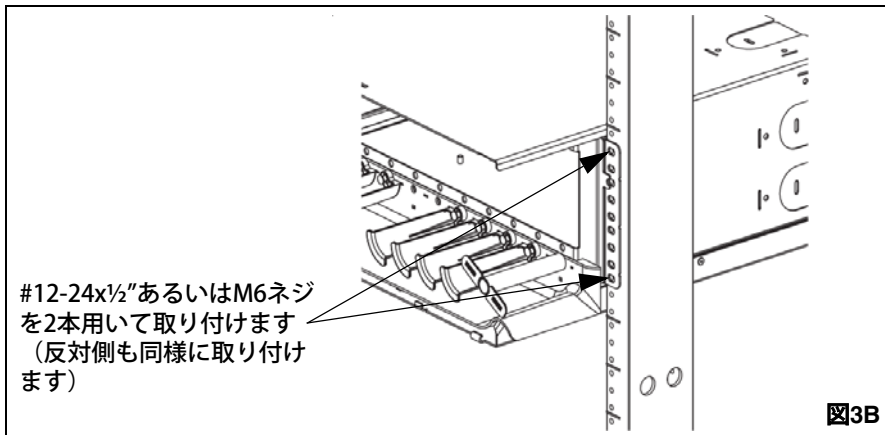
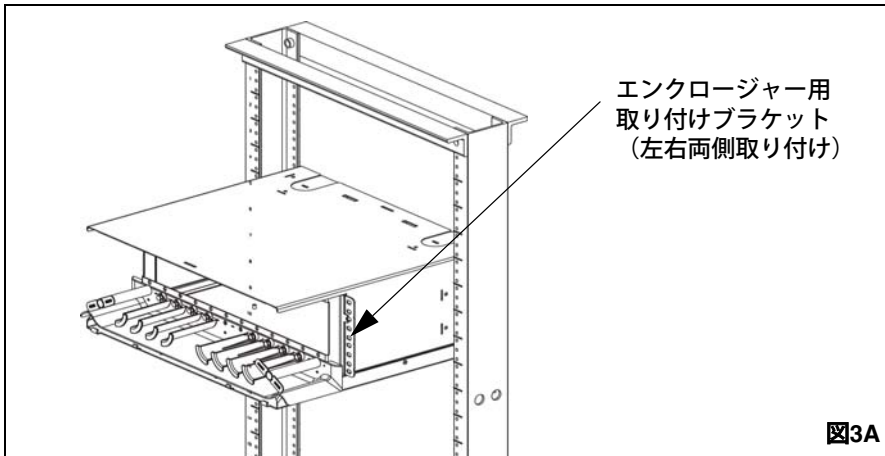
ラックへの取り付け



図のようにケーブルポストを両サイドに取り付けます。

エンクロージャーのどの位置からケーブルを引き込むかを決定します。
トレーのケーブル引きこみ口に取り付けられているノックアウトを、周りを傷つけないよう注意して取り外します。

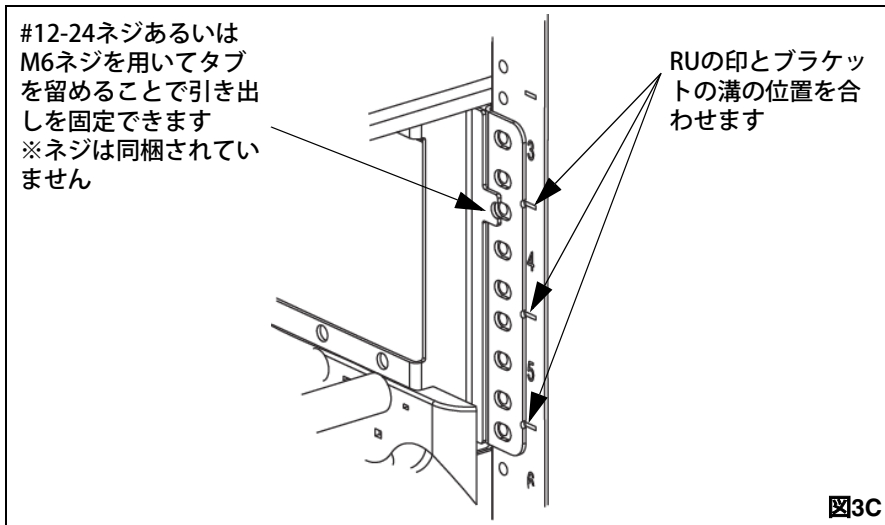
この時点ではまだブッシングを取り付けないでください。
ブッシングはエンクロージャーをラックにマウントした後に取り付けます。



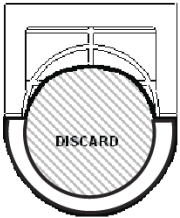
ラックへの取り付け位置に、エンクロージャー取り付け用ブラケットを設置します。

#12-24ネジ4本を用いてエンクロージャーをラックへ取り付けます。

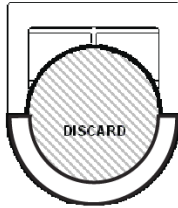
(Metricラックを使用する場合はM6ネジを4本使用します。)



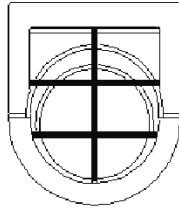
ブッシングの切り取り



インナーダクトの
直径約2.5cmを
切り取る



インナーダクトの
直径約3.8cmを
切り取る



インナーダクトを
使用しない場合は
直線に切り取る

図4A

ラックにエンクロージャーを取り付け、ケーブルを引き込む際に使用するインナーダクトのサイズを決めます。図4Aを参考に、ブッシングを適切なサイズに切り、取り付けます。

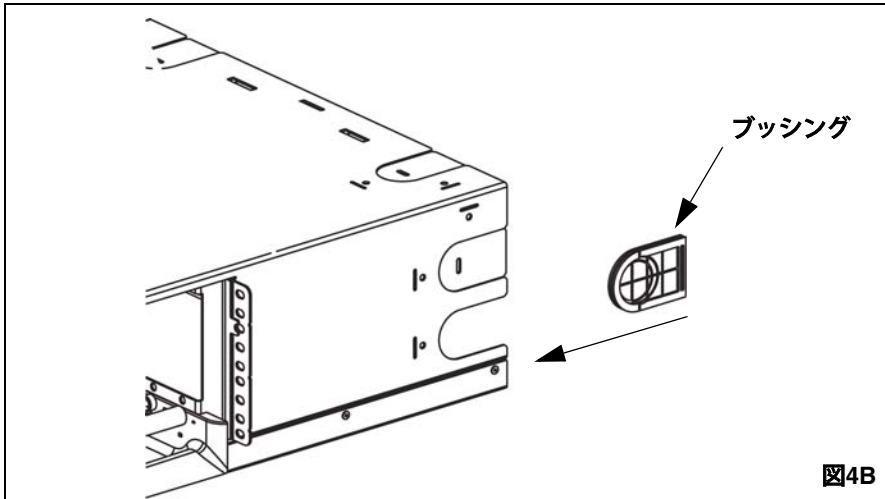


図4B

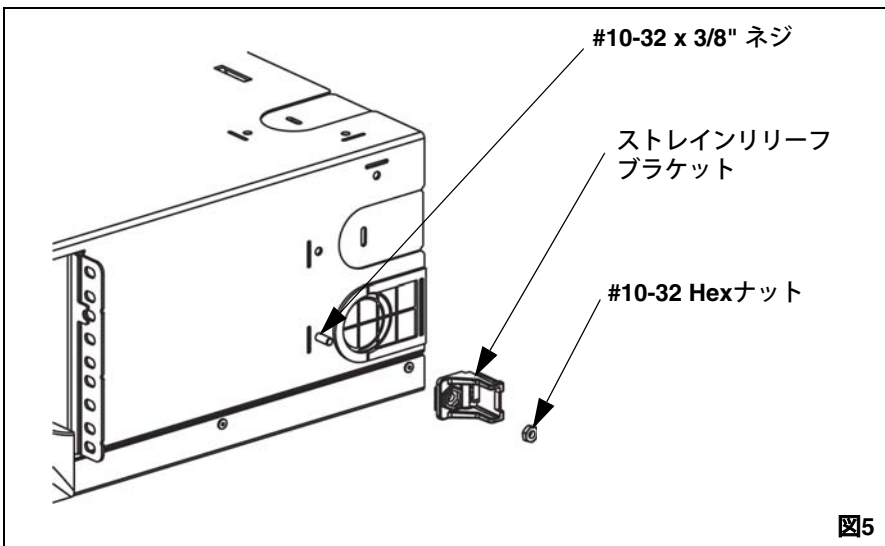
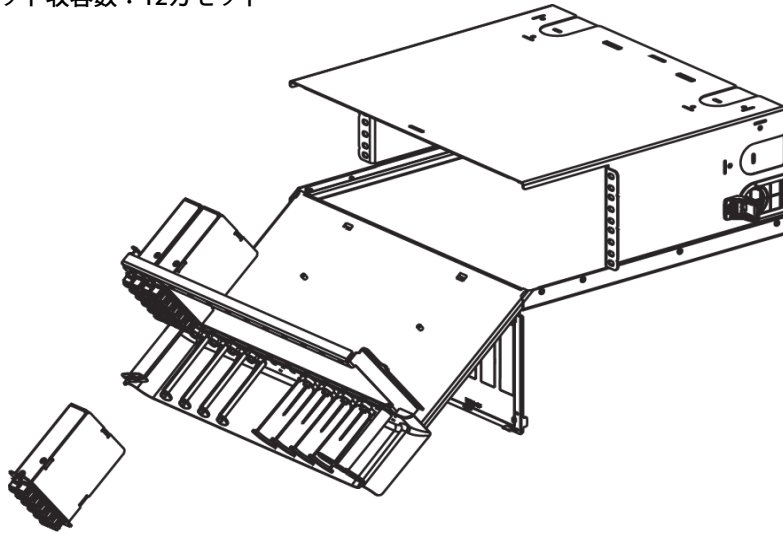


図5

ストレインリリーフブラケットを、
#10-32x3/8"ネジおよび#10-32Hexナットを用いてケーブル引きこみ口のすぐ横へ取り付けます。

Opticom QuickNet カセット取り付け（カセット別売り）

カセット収容数：12カセット



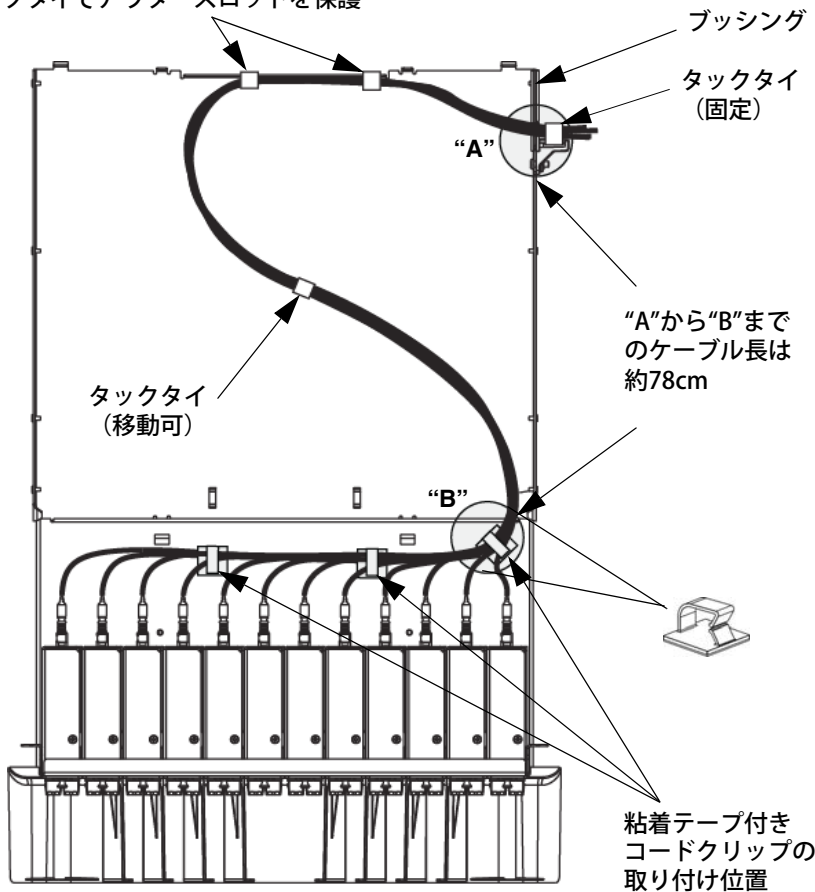
図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。

図6A

図のようにOpticom™ Quicknet™プレターミネートカセットをエンクロージャーに取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとはめ、カセットを固定します。

引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

タックタイでアウトスロットを保護

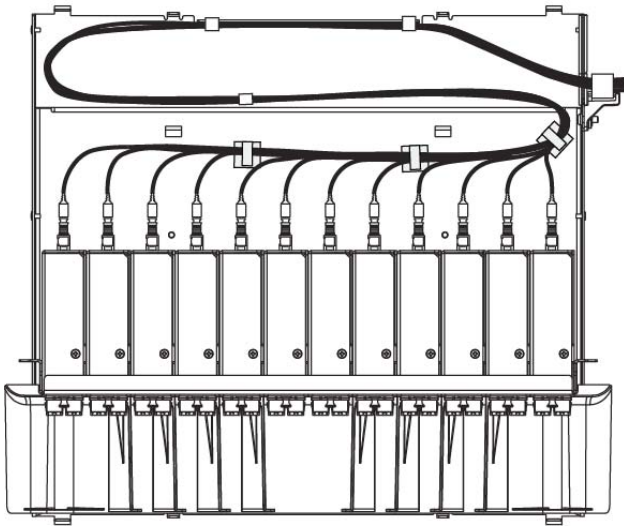


図のように、ファイバーケーブルを、ブッシングを通してカセットへ配線します。引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図6C参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

※引き出しを出した状態（カバーは取り外した状態です）

図6B



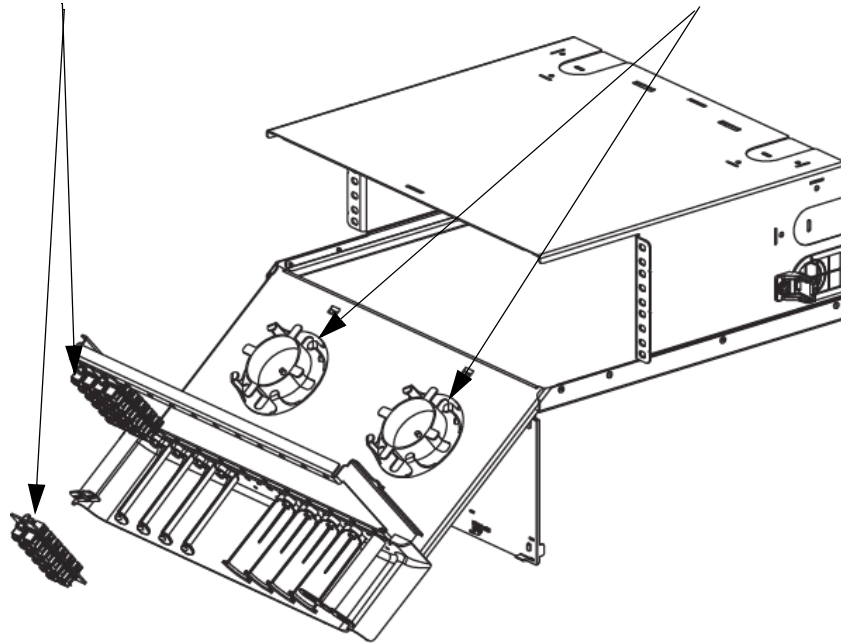
※引き出しを収納した状態（カバーは取り外した状態です）

図6C

現場成端、トランクケーブル配線

ファイバーアダプタパネル収容数：12

スラックスプール

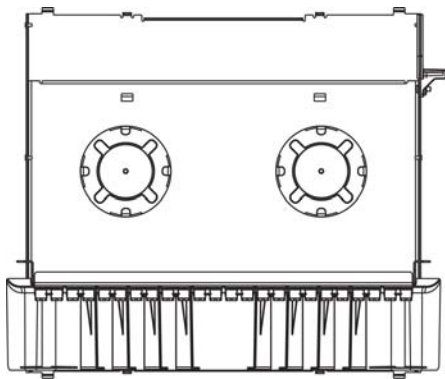


引き出し部分の#10-32止め金具にスプールを取り付けます。#10-32Hexナットあるいは両面テープで取り付けます。両面テープを使用する場合は、スプールの穴と同じ位置に穴を開けてください。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。

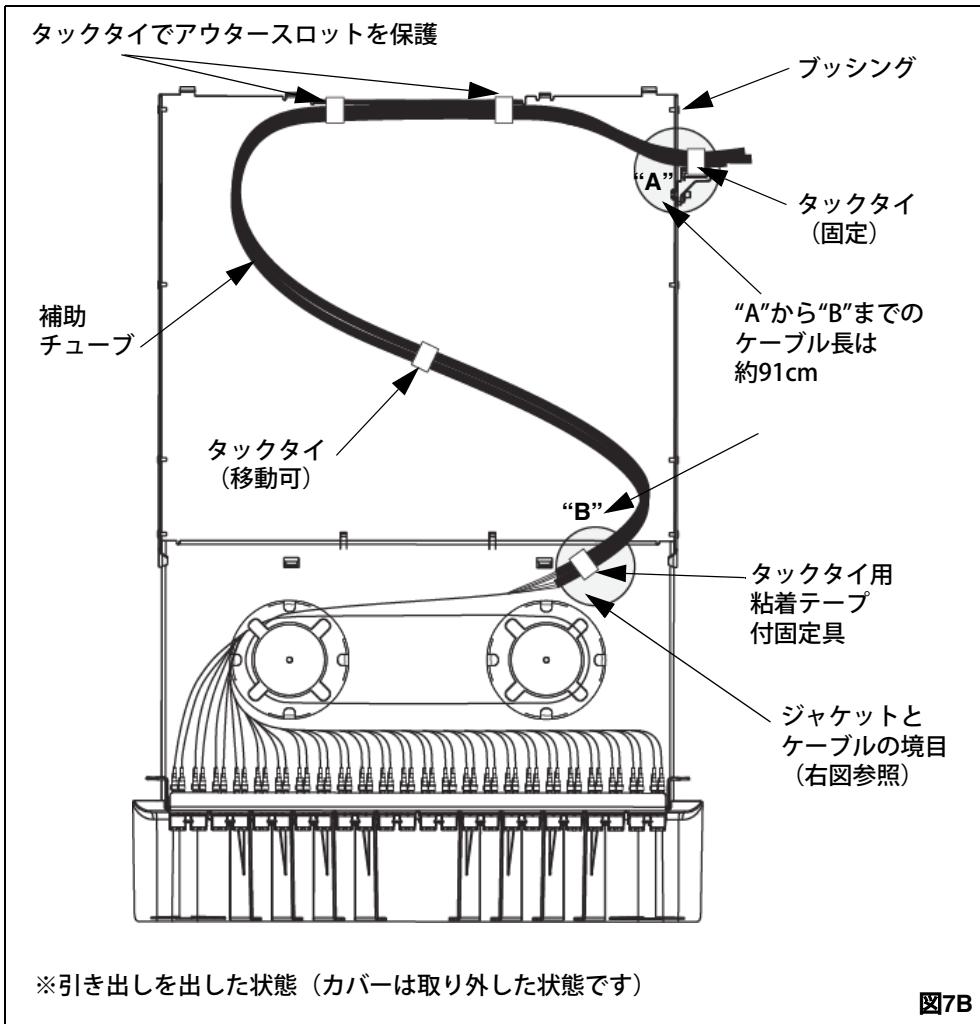
引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。



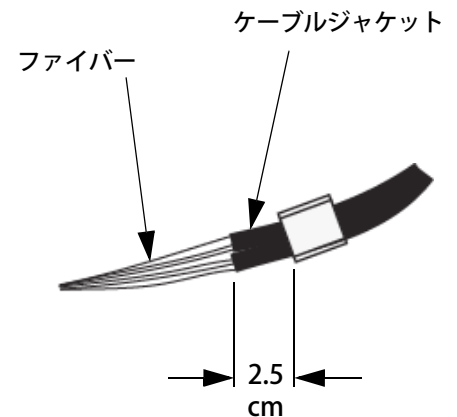
エンクロージャーを上から見た図
(カバー無)

図7A

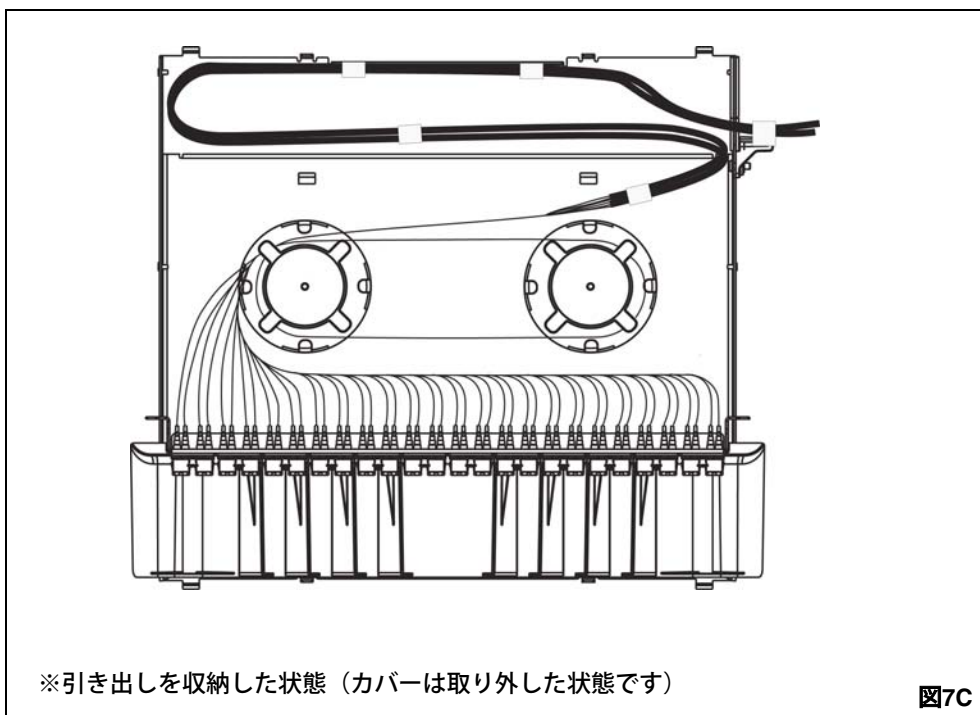


図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。ファイバーをスプールに1周できる程度の長さのケーブル長を確保します。引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。(図7C参照)

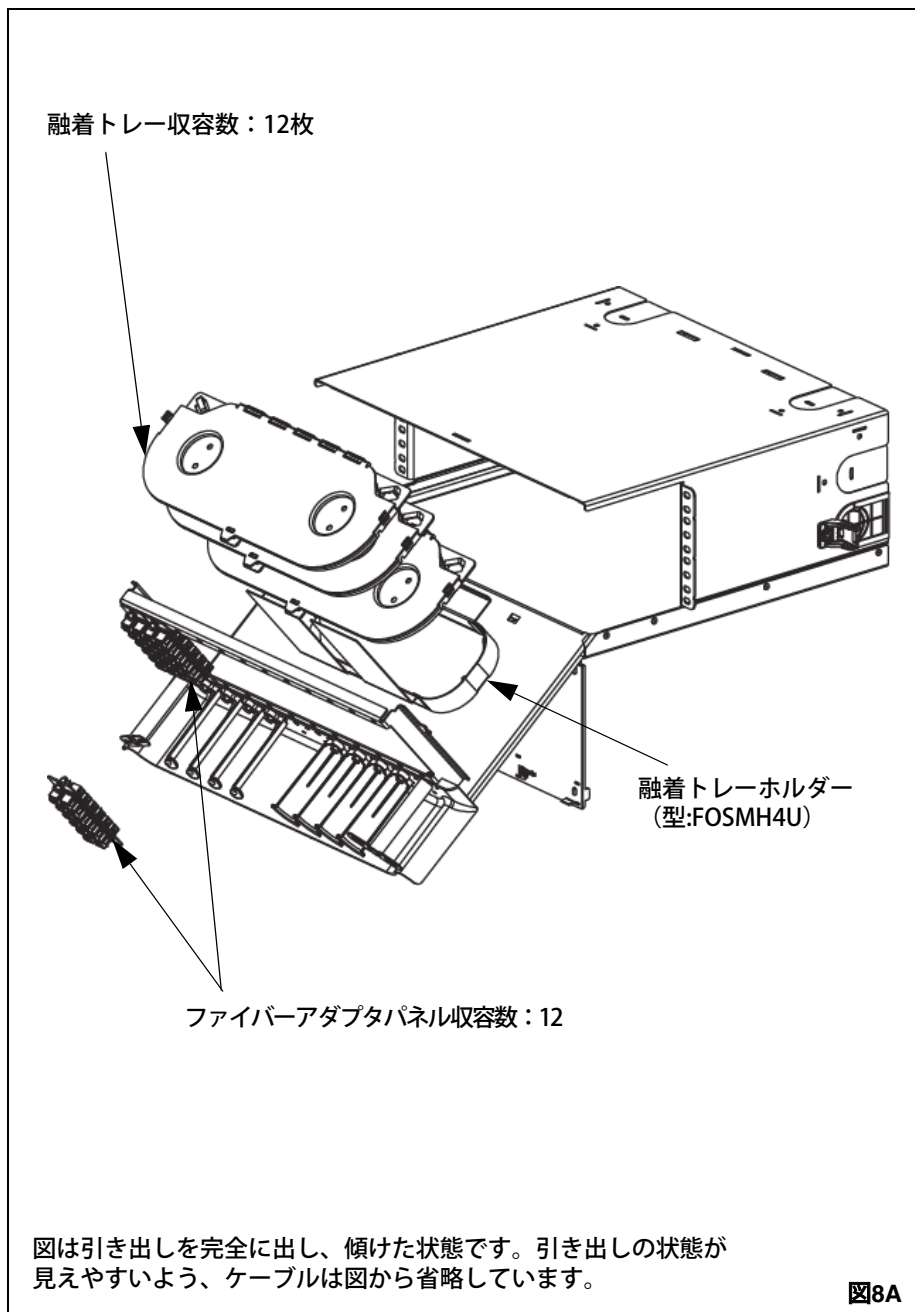
ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。



ジャケットとケーブルの境目
固定具でトランクケーブルのジャケット部分を押しえます。ファイバーを押しえないよう注意してください。



FOSM光ファイバー融着トレー取り付け

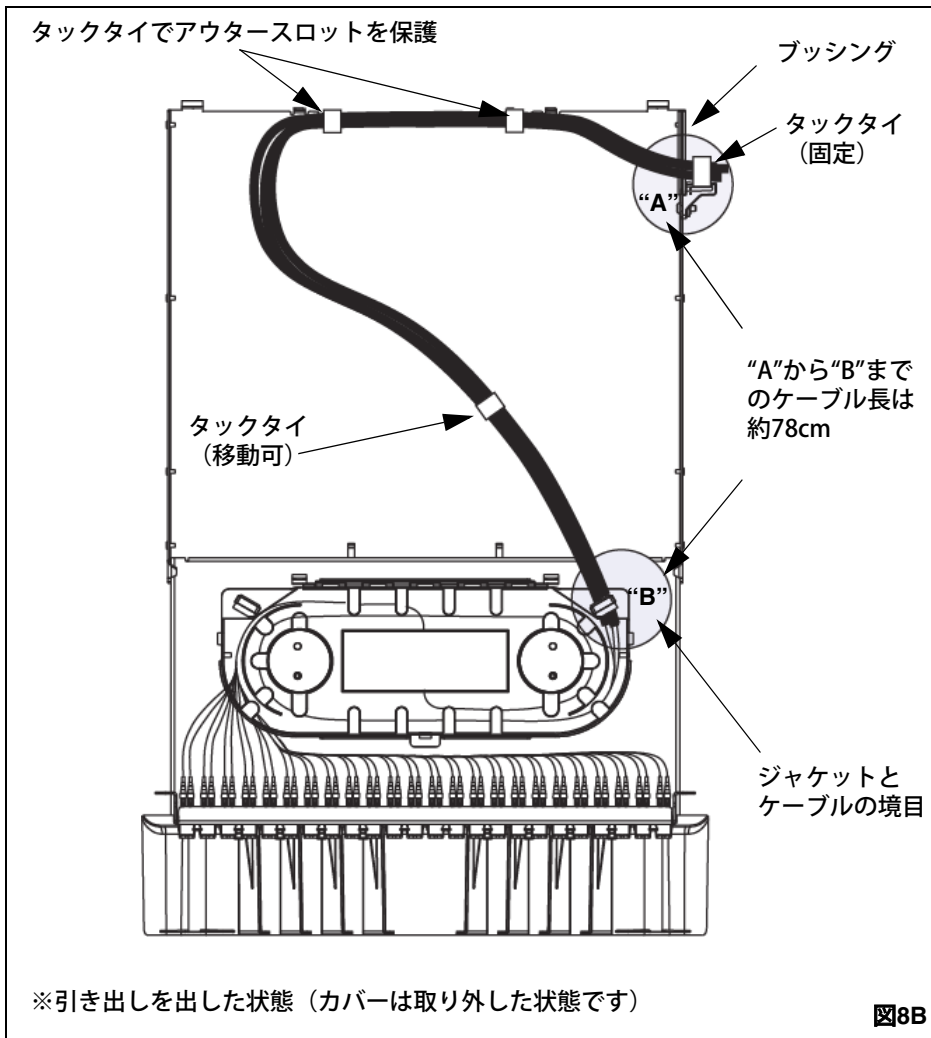


引き出し部分の#10-32止め金具に、#10-32 Hexナットを用いて融着トレーホルダーを取り付けます。1枚目の融着トレーを融着トレーホルダーに取り付けます。残りの融着トレーを積み上げ、定位置へ固定します。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとはめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。

引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

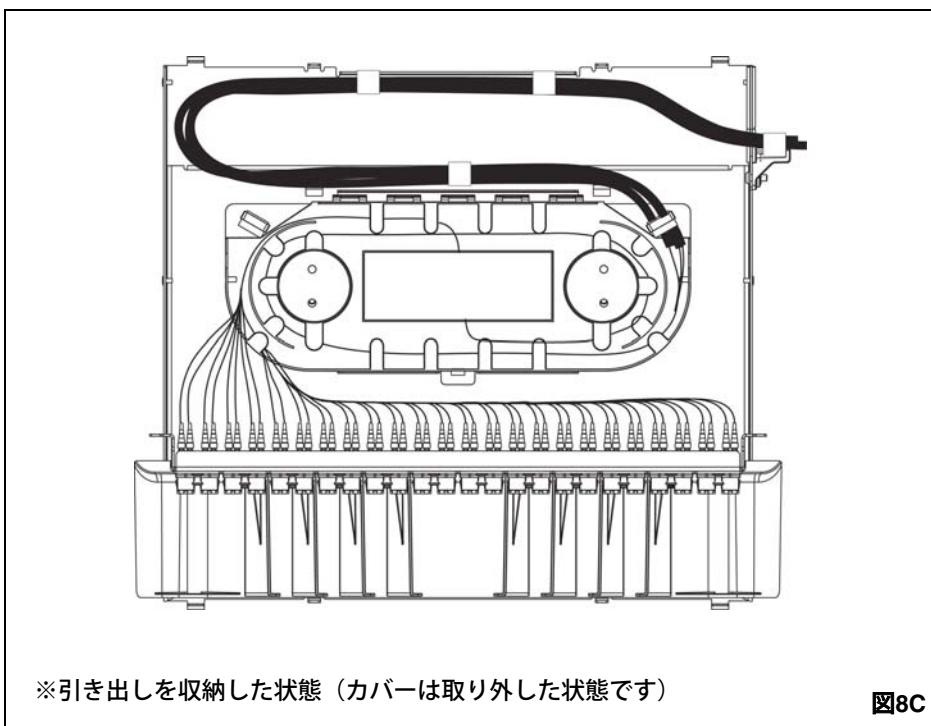
融着トレーを積み上げる際は、各融着トレー内で融着をしてから、次の融着トレーを積み上げてください。



図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。ファイバーをスプールに1周できる程度の長さのケーブル長を確保します。

引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。(図8C参照)

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。



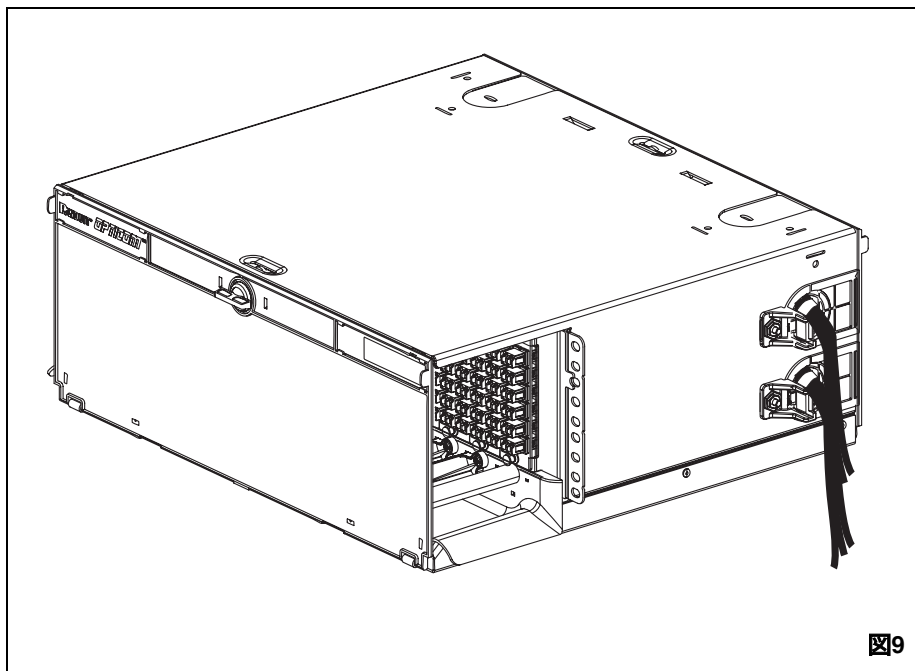


図9

成端時に前面/背面ドアを取り外した場合は、元に戻します。

レーザー光線警告ラベルおよび警告ラベルを見える位置に添付します。

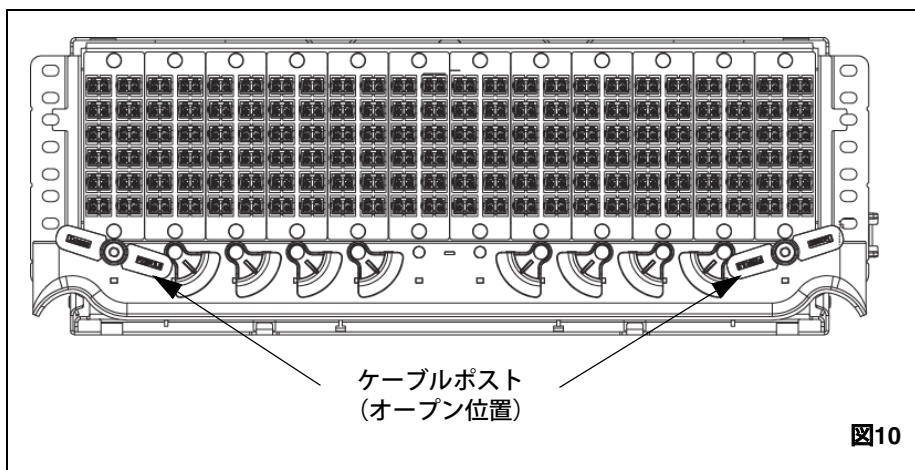


図10

パッチフィールドの両端にあるケーブルポストを回転させて、オープン位置にします。タブの下のパッチコードをケーブルマネージャーに配線できるようにします。

FAPアダプタにファイバーコネクタを挿入します。ファイバー管理フィンガーとケーブルマネージャーのケーブルポストの下で、ファイバー管理ベースにパッチコードを配線します。

すべてのパッチコードをケーブルマネージャーに配線した後、ファイバーマネージャー内にパッチコードを収めるために、ケーブルポストを回転させて閉じます。

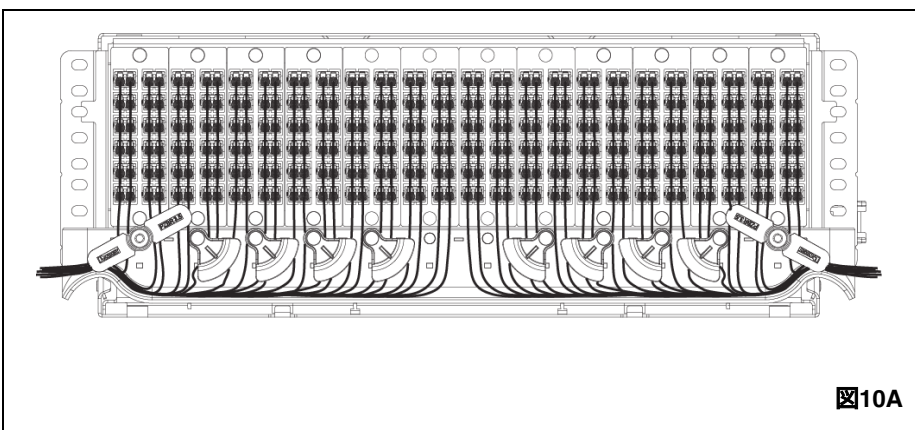


図10A

ファイバーマネージャーの背面にあるHexナットを固定し、ケーブルポストのボルトをドライバーで締めて、エンクロージャーにケーブルポストを固定します。

技術的なお問い合わせ

バンドウITT カスタマーサービス

PANDUIT™

E-mail:
jpn-toiwase@panduit.com

Tel:
03-6863-6060